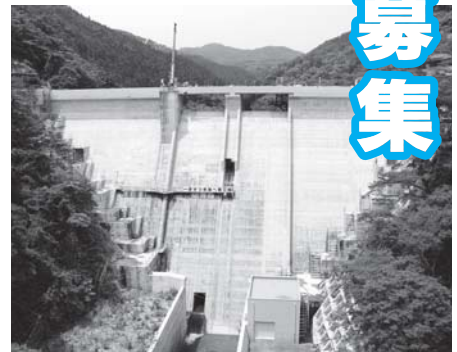


湖の名前募集

県が建設している弘川ダムが、10月末に完成することになりました。弘川ダムが洪水の防御や水道用水の確保の役割を担いながら、町民に愛される憩いの場であるように願いを込め、弘川ダムにできる湖の名前を募集します。



結果発表

10月開催予定の弘川ダム工事完成式典で発表します。

応募資格

町在住の方及び町外仮設住宅等に居住されている方

応募期間

8月1日(水)から31日(金)まで。

応募方法

ダム湖の名前とふりがな、理由、応募する方の住所、氏名、連絡先を記載のうえ、はがき、電子メール、フアクシミリにて応募ください。

選考方法

弘川ダム湖名前選定委員会で審査のうえ決定します。

空間放射線量測定情報

■空間放射線量

(単位：マイクロシーベルト/時、地表からの高さ50センチメートルにて測定、測定日：7月4日から9日)

測定地点	測定値	測定地点	測定値
役場庁舎	0.10	志津川小学校	0.08
神割崎	0.07	入谷小学校	0.07
波伝谷漁港	0.04	伊里前小学校	0.06
水尻川中流部	0.07	志津川中学校	0.08
入谷さんさん館	0.09	歌津中学校	0.07
伊里前川中流部	0.10	志津川保育所	0.10
吉野沢団地	0.06	伊里前保育所	0.09
泊浜	0.05	名足保育園	0.06
名足仮設団地	0.05	平成の森(地表1m)	0.05
水界峠	0.11	田束山頂	0.10

現在、環境省が定めた除染のガイドラインとして、1時間当たり0.23マイクロシーベルト以上(年間1ミリシーベルト以上)の放射線量が計測された場合は除染措置を行うことが定められておりますが、上記の表のとおり町内に該当する場所はございません。

■水道水中の放射性物質測定結果について

測定地点 (6月4日測定)	放射性ヨウ素	放射性セシウム
伊里前・助作・戸倉・米広・上沢の各浄水場	不検出	不検出

測定の結果、当町の水道水は食品衛生法の基準を満たしています。

※「不検出」とは、放射性物質の濃度が検出下限値未満の状態を表します。

■参考サイト

・宮城県「放射能情報サイトみやぎ」
<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>

■相談窓口

・宮城県「放射線・放射能に関する相談」
☎022-211-3323

地震・津波防災訓練を実施します

- ◇日時 9月1日(土)
午前7時から1時間程度
- ◇場所 町内全域
- ◇対象 町内在住の方及び町外の仮設住宅団地等に居住する町民の方々は、その仮設住宅団地等の自治組織における実施内容に基づき対応願います。
※詳細については、別途お知らせします。

漁協組合員の方へ 戸別受信機の設定確認のお知らせ

防災行政無線の戸別受信機は、漁協支所(志津川・歌津)からの放送も受信できるよう設定を行うことができます。

これまででも、戸別受信機設置時に漁協組合員のお宅であるかを確認したうえで設定をしていますが、「組合員なのに漁協からの放送が入らない」お宅がありましたら、改めて設定等を行いますので、次の事項について危機管理課へご連絡ください。

行政区・住所・世帯主の氏名・組合員の氏名・電話番号・所属する漁協支所名

問い合わせ 危機管理課 ☎46-1376

飲酒運転の根絶と 夏の交通事故防止



＝飲酒運転根絶＝

町内でも飲酒運転による検挙者が後を絶ちません。飲酒運転は犯罪です。「飲酒運転 しない させない 許さない」を合言葉に、一人ひとりが気を付けて飲酒運転を根絶しましょう。

＝夏の交通事故防止＝

学校や会社が休みとなるこの時期は、外出の機会が増えますが、それに伴い天候や行楽・帰省での長距離運転などの疲れが原因となる重大事故が多発します。外出の際は、体調を整え、ゆとりを持った運転計画のもと安全運転に努め楽しい夏休みを過ごしましょう。

問い合わせ 南三陸警察署 交通課 ☎46-3131

今月の移動町長室は、8月23日(木)です。

時間 午後1時から4時

◇問い合わせ 歌津総合支所地域生活課 ☎36-2111

暮らしの安全 花火遊びの事故防止

1. 花火のパッケージや、本体に記載されている注意事項を守りましょう。
2. 子供が被害者となるケースが多いのは、花火の性質をよく知らないためです。必ず、大人と一緒に遊びましょう。
3. 点火には、マッチやライターを使わずローソクや、線香を用いましょう。
4. 周囲に燃えやすい物がないところで遊びましょう。
打ち上げ花火をするときは、特に広い場所を選びましょう。
5. 津波浸水域は、地形の変化で危険な場所があります。海岸や河川近くは特に注意しましょう。
6. 変形している花火は異常燃焼の危険があるので使用は控えましょう。
一度点火した花火は危険ですので、のぞき込まないようにしましょう。
7. 服への着火や、やけどの事故を防ぐため、体から十分離して遊びましょう。
8. 消火用具を準備し、使い終わった花火は水にひたしましょう。

問い合わせ

南三陸消防署 ☎46-2677
歌津出張所 ☎36-2222

節水に心がけ水道水の無駄を減らしましょう

- 水の出しっぱなしはやめましょう
出しっぱなしは、一分間に約6リットルの水の無駄になります。
- 食器を洗う時は
食事の準備、後かたづけはため洗いをしましょう。適切な水量で、食器や野菜を洗いましょう。
- 歯磨き・洗顔の時は
歯磨きには、コップを使いましょう。洗顔では、洗面台や洗面器を使いましょう。
- お風呂は必要な分だけためる
湯量は、お風呂ブザーやタイマーなどを活用し適量にしましょう。シャワーは短時間ですませ、こまめに止めましょう。
- トイレで流す水は控える
大小レバーの使い分けをし、2度流し、3度流しはやめましょう。
- お風呂の残り湯は洗濯、掃除などに
お風呂の残り湯は水温が高く、汚れも落ち、洗剤も無駄なく利用できます。
*入浴剤を使用した場合は色が付くことがあります。余計に使っても洗浄力が増すわけではありません。洗濯はまとめて洗い、回数を減らしましょう。
- 水やりは、米のとぎ汁や残り湯で
植木に水をやる時は、米のとぎ汁や残り湯を使用しましょう。(米のとぎ汁は肥料になります。)
- 水道が断水したときのトイレの使用
お風呂の水などをバケツにくんで水洗タンクに入れば、トイレが使用できます。災害の時などに対処できるよう、普段からお風呂の水などを多目的に使用することを心がけましょう。

問い合わせ 上下水道事業所 ☎46-5600



西城 皇祐さん(◎御前下)

●インタビュー

小中学校の夏休み期間中、防災無線放送で子どもたちが安全に帰宅できるよう呼びかけていますが、放送の声を担当してくれた、志津川中学校3年生の西城皇祐さんに話を聞きました。

最初は自分の声が夏休み中の約30日間流れるということに抵抗はありましたが、本番では、ゆっくり、はっきりと話すことを意識して録音することができました。そして今回は普段は入れない放送室で録音をしたのでとても貴重な体験となりました。

これからは、勉強にしっかり取り組んで自分に合った高校へ進学するというのが目標です。そして将来は町の復興に係る職業に就きたいと思っています。